

# 下見学生街に熱い期待を！

下見学生街整備推進協議会会長 ◆ 光岡 惇

## 学生街じいへの取り組み

広島大学の統合移転完了もいよいよ間近に迫ってきました。移転決定から二十年、幾多の困難を乗り越えて統合移転が実現しようとしていることをお喜びし、心より歓迎いたします。

私たちの生活する下見地区は、広島大学キャンパスの北側に広がる農村地帯です。ここでは今、広島大学のみならず手を携え、新しいまち「下見学生街」の建設が進められています。

下見地区の学生街づくりは、工学部がこの地にはじめて移転・開校した昭和五十七年前後にさかのぼります。当時、東広島市では広島大学の周辺に生活施設や文化施設を整備し、大学のみならずの教育・研究活動や生活のための環境を整えることが必要であると考へ、下見地区で計画的な大学門前町をつくることを計画しました。

## まちづくりのルールを決定

「地区計画」は都市計画の制度の一つで、地元の人たちの合意のもとにまちづくりのルールを取り決め、これに従って、計画的なまちを創っていくこととするものです。下見地区では、四十五軒の区域について次のようなルールを取り決めました。

① 十分な広さの道路を確保するため、畦道や水路を六軒に拡張し、十七本の道路をつくることにしました。そのた

め、市役所だけではまちづくりはできません。そこで、私たち地元の住民、土地所有者が中心になって「下見学生街整備推進協議会」を結成し、行政といっしょになって学生街づくりに取り組みすることになりました。そして勉強を重ねた結果、「地区計画」を活用した地元主体のまちづくりを進めることになったのです。

## 活気あふれるまちづくりを目指して

このようにして、平成元年に、私たちが主体となった学生街づくりがスタートしました。私たちが目指す学生街は、広島大学の学生の皆さんがここに住み、キャンパスライフの一時をこのまちで過ごし、ともに語り、歌い、青春のページを刻んでいけるような活気あふれるまちです。そして、学生・教職員と地元

な人たちが出会い、ふれあうことのできる開かれたまちです。地区計画に沿って、すでに学生街づくりが始まっています。六軒道路は、統合移転完了までに大半が完成するほか、教育学部入り口から学生街を貫く幅十二メートルの幹線道路（学生街一号线）も既に工事が進められています。

また、商店、飲食店の建設が始まっているほか、学生街の中央で大手スーパーの誘致を進めています。さらに、学生街一号线（十二軒道路）の両側には、みなさんが集まるショッピングモールにしたいと計画しています。さらに、みなさんが学生街の中で生活できるように、農地の所有者と農協が協力して

「農住組合」を結成し、計画的に質の高い住宅を提供しようとする準備を進めています。

## みなさんと一緒にまちづくりを創る

私たちのまちづくりは始まったばかりです。学生街の区域もまだまだ水田や空地が多く、学生・教職員の皆さんの期待に応えているとはいえないと思います。

私たちはこれまで農業の経験が少なく、どのようにしてまちづくりを進めたらいいか手探りの状態です。さらに、私たちの財産に関する問題で、資金の問題、税金の問題など解決しなければならぬ問題が数多くあります。そのため、東広島市をはじめ商工会議所、農協グループ等の支援を受けながら、一歩一歩まちづくりを進めています。

しかし、学生街の主役は広島大学の学生・教職員のみならず、学生街を利用するみなさんにふさわしいまちにしていくためには、みなさんのご意見、ご要望をお寄せいただき、みなさんと一緒になってまちづくりを進めていくことが是非とも必要です。学生のみならずの若々しい感性、センス、バイタリテイ、

さらにさまざまな専門分野で活躍されている先生方の幅広い知識や知恵は、学生街をどこにもない魅力あるものにするでしょう。

## 終わりに

下見学生街は、全国的にも例をみないユニークな試みです。大学と地域が一体となった学園都市は、一朝一夕で完成するものではありません。私たち地元住民の地域づくりにかける情熱と、大学のみならずの積極的な参画があつて、はじめて実現するものだと思います。

私たちは、よりよい学生街づくりを目指して商店の誘致・商店街の形成や住宅の建設、快適な環境の整備を精力的に進めていきます。そして、広島大学のみならずの積極的な参画、建設的な提案を心からお待ちしています。新しい学生街に期待してください！そして、私たちがいっしょに新しいまちを創っていくてください。

（みつおか・あつし）

## 下見学生街利用構想図



## 広島大学西条キャンパス

●ご意見等の連絡先  
下見学生街整備推進協議会  
(下見福祉会館内)  
電話 (0824) 23-9303